

研究課題：小児がん治療における骨壊死のリスク検討

1. 研究の目的

小児がん治療に伴う合併症の一つである骨壊死は、患者の日常生活を制限します。無症候性の場合、維持療法移行時のMRI検査で確認されることが多いです。このため、入院中リハビリテーション実施においてリスク管理が重要であると考えます。

本研究の目的は、当センターでの骨壊死の発生リスクを検討し、より安全にリハビリテーションを提供する一助とすることです。

2. 研究の方法

カルテより後方視的に情報を収集検討します。

3. 研究期間

2020年5月から2020年12月末日

4. 研究に用いる資料・情報の種類

対象：2017年4月～2020年3月の期間に小児がんと診断され、リハビリテーション<OT、ST、PT>処方・介入を行った症例の内、MRI検査にて骨壊死評価を実施した症例とします。対象の年齢・性別・疾患名・治療内容（化学療法、造血幹細胞移植、放射線治療実施の有無）・治療中の活動性・体重増減の有無（減少の場合は体重減少率）・骨壊死発生の有無・骨壊死以外の合併症の有無について、カルテより後方視的に抽出し、検討を行います。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

関連学会への演題発表。

6. 研究組織

研究責任者：

埼玉県立小児医療センター 保健発達部 副技師長 白子叔江

研究分担者：

埼玉県立小児医療センター	保健発達部	作業療法	主任	島崎貴子
	保健発達部	理学療法	技師	阿部広和
	保健発達部	理学療法	技師	松本奈々恵
	保健発達部	作業療法	技師	大輪由貴

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先
- 研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年10月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）